

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4・5面 「発達障害」の疑い 小学1年生 どうしたら?/ジェンダー講座/ホットライン
- 6面 眉の描き方/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/地域で支える



福岡・大牟田市
吉田眞由美

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

生あるかぎり “自分らしく”



被災地支援のことなど話題が尽きない

新婦人しんぶん2月3日号の読者がつくるページに84歳からマージャンをはじめた体験を投稿した神戸美和子さん。2年前に脳血管障害で倒れて、横浜市の病院に入院しました。1年間のリハビリ後退院しますが、左半身に麻痺が残り、車いす生活に。町田市に戻ったものの、玄関まで階段がある家には戻れず、夫が認知症になったこともあり、市内の老人ホームに入居しています。

「これまで大きな病気をせずに働いてきたから、心細くなることもあるけれど、右半身は元気だし、手は両方とも動くから、何か楽しみを見つけてよ」と思っていてと美和子さん。その時に思い出したのが、新婦人の小グループ「健脳マージャン」でした。「健脳」という言葉に魅かれたのね。マージャンは頭にいいと聞いて「車いすでは自由な外出はむずかしく、ホーム内

手は両方とも動くから

84歳からマージャン
東京・町田市 神戸 美和子さん(84)

読者投稿「〇〇歳から始めました」スペシャル

新しいこと、はじめてみませんか

本紙「読者がつくるページ」のテーマ投稿「〇〇歳から始めました」にたくさんの手記が寄せられています。掲載された投稿を見て、「年だから...」と諦めていたけれど、何かやってみようかと思っただけで、年齢にとらわれず、自分らしく前向きに過ごすみなさんを紹介しています。

「これまでに大きな病気をせずに働いてきたから、心細くなることもあるけれど、右半身は元気だし、手は両方とも動くから、何か楽しみを見つけてよ」と思っていてと美和子さん。その時に思い出したのが、新婦人の小グループ「健脳マージャン」でした。「健脳」という言葉に魅かれたのね。マージャンは頭にいいと聞いて「車いすでは自由な外出はむずかしく、ホーム内にマージャンのグループがあることを知って、「入れて」と頼み込みました。「それまでマージャンをやったことはありません。子どものころに年の離れた兄がやるのを見たことはあったけれど、『女の子がはしたない』と怒られて。でもいまは『カモネギ』とよって来ましたよ」と言っていて参加しています。普段はそんなに勝てないけれど、ぼろ勝ちした時は本当にうれしくて、しんぶんに掲載したのよ。



ホームのマージャングループで (本人提供)

「もう一つの万葉集」(李寧熙著)という本に出会い、朝鮮語で万葉集を読むと違った意味がcaくれていると知りました。そこから「日本語と朝鮮半島の言葉との関係は?」と関心を持ち、英語教員を退職した60歳から2年間、韓国に留学。延世大学の語学堂に通い、ナムの家でボランティアをしたり、ランゲージ・エクステンション

死ぬまでに弾きたい曲

60歳から韓国語・80歳からピアノ
和歌山・有田川町 米澤 清恵さん(83)



班会のコンサートで演奏

「語学交換」の友人や平和教育研究会の人と交流したり。交流はいつも続き、昨年2月に当時知り合った人の著書を翻訳して出版しました。

5月4日号は休刊です

〈2面へ〉

